

第80回愛知県中学校総合体育大会柔道競技 <審判監督会議>

※資料はこちらから

<https://drive.google.com/drive/folders/18o4p9wlIF5qUypKeKM ZO0O6fhPi 8tR?usp=drive link>



1 部長あいさつ

武内 真人 部長（名古屋市立天神山中学校長）

2 マットドクター紹介

25日：檜垣 栄治 先生・石川凛太郎 先生／26日：檜垣 栄治 先生・小川 明男 先生

3 救護員紹介

25日：大元 美久 先生・鈴木 裕也 先生／26日：相羽 悠平 先生・森 正仁 先生

4 受付・計量・W-UP・試合会場について

- | | | |
|---------------|-----------------------------|----------|
| (1) 受付場所および時間 | 9:00-9:30 (2F 大会議室) | ※団体・個人とも |
| (2) 更衣 | アリーナ内控え席・更衣室 | |
| (3) 計量場所および時間 | 9:00-9:45 アリーナ北側 | |
| (4) ウォーミングアップ | 9:45-10:20 アリーナ | |
| (5) 試合会場 | アリーナ 6面6試合場 | |
| (6) 柔道衣コントロール | 団体戦：初戦時の試合前／個人戦：開会式後、各試合場にて | |
- ※同地区の審判によるコントロールは避ける

5 審判監督打合せ 羽生 裕司 審判長

- (1) 本大会は「国際柔道連盟試合審判規程(2025.1.1 施行)」及び「少年大会試合審判規程」(2026.4.1 改正)、「令和8年度全国中学校柔道大会における適用規程について(通知)」で行う。

【資料1/資料2/資料3】

- ① 試合時間は、団体戦・個人戦共に3分間とする。3回目の「指導」が与えられた時点で「反則負け」とする。延長戦（ゴールデンスコア）は、時間無制限とする。抑え込みのスコアは、有効5秒、技有10秒、一本20秒とする。
 - ② 団体試合の個々の試合の優勢勝ちの判定基準は、技の評価は「有効」以上とするが、技の評価が同等の場合、「指導」差が2以上開いたとき、少ない選手を「僅差」の優勢勝ちとする。「指導」差が1以下の場合、「引き分け」とする。
 - ③ 個人試合及び任意の選手によって行われる団体戦の代表戦は、判定基準は団体試合の個々の試合と同様とするが、規定の試合時間が終了した時点で、試合両者にスコアがない場合、もしくはスコアが同等である場合、「指導」差1以下の場合、その試合は延長戦（ゴールデンスコア）に突入する。
 - ④ 延長戦（ゴールデンスコア）については、延長戦に入る前の規定試合時間内に与えられたスコア、ならびに罰則は、引き続きスコアボードに反映される。スコアが与えられた時点で、延長戦は直ちに終了する。抑え込みの場合は5秒で「有効、それまで」となる。延長戦中に「指導」が与えられた場合、与えられた選手が相手よりも多くの「指導」を受けたことになる場合、その試合は終了する。
- (2) 団体戦のルールについては以下のとおりとする。
- ① 勝数が同じ場合、内容により決定する（一本>技有>有効>僅差(指導差2)）。内容も同じ場合は任意の選手による代表戦を行う。本戦3分を行い、決着しなければGS方式の時間無制限の延長戦を行う。
 - ② チーム編成は最も体重の重い選手を大将とし、以下順次体重順とする。
 - ③ 選手の交代については届出の補欠をもってあて、順次体重順とする。いったん交代した選手は、再度出場することはできない。

(3) 次の場合は、ゴールデンスコア方式により、勝敗を決する。

- ① 同時「一本」 ② 累積による両者「反則負け」

(4) 柔道衣コントロール

- ① 2023 年 7 月 24 日付け「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について」に基づいて実施する。【資料 4・5】
② 団体戦は、第 1 試合の会場において、当該試合の審判団により実施する。個人戦は階級ごとに招集場所において実施する。

(5) その他申し合わせ

- ① 各試合場の審判団で 3 人の審判と 1 人の審判委員を決めて進める。同所属の試合は審判団から外れる。各試合場、審判割に従い、準決勝戦および、3 位決定戦（男子のみ）まで行う。
② 医師と柔道整復師の 2 人一組で救護係を行う。北と南の 2 カ所に待機場所を設ける。ドクターストップによる棄権については、県柔連からの通知に従う。【資料 6】
③ 審判割りで●印は審判委員の役割をする。審判委員は必要な場合、試合を中断して審判員に判定の確認をしたり、審判委員から意見を求められた場合に助言したりする。
④ 団体戦、個人戦ともに決勝戦の審判団は、放送にて連絡する。
⑤ 団体戦においては、審判はローテーションをして行う。〔男子 2-2-1、女子 1-1-1〕
⑥ 直接または累積の「反則負け」および延長戦での勝敗が決まる「指導」では原則、合議する。
⑦ 技の判定において 2 段階以上の差がある場合（「一本」と「有効」など）は原則、合議する。
⑧ 審判員は、試合の始めと終わりの開始線での「礼」を厳しくコントロールする。
⑨ 監督・コーチの服装は、審判員に準ずるものとする。
⑩ 進行の都合上、試合が連続する場合は、3 分間の休憩時間を設ける。
⑪ 審判に対する監督・コーチからの抗議は認めない。
⑫ 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」【資料 7】を適用する。
⑬ 「脳震盪対応について」【資料 8】を適用する。

6 特に留意すべき事項

- (1) 標準的な組み手は 30 秒、標準的な組手でない場合もポジティブなら継続し、従来より長く見るとされているが、背部・標準的でない組手については少年大会試合審判規程に従い、瞬間的（1、2 秒程度）または直ちに技を施さない場合は、「指導」とする。
また、標準的な組手においても 30 秒という時間のみにとらわれず、消極的な「指導」を適切にとること。
- (2) ダイビング、ヘッドディフェンス、ユージングザヘッドについては、いずれも「反則負け」とする。この場合はその後の試合に出場することができる。
- (3) (2) 以外の柔道ならびにスポーツ精神に反する行為での直接の「反則負け」は以後の試合に出場できないので、本部へ連絡する。
- (4) 寝技の攻撃・防御において、脊椎・脊髄および肩関節に損傷を及ぼす動作を判断したときは「待て」とする。【資料 9】
- ・ 肩関節への危害
 - ・ 首や頸椎への危害
 - ・ 相手の頭部や首のみを抱えて抑え込む行為
 - ・ 脚を使って首だけを固めてコントロールする行為
 - ・ 三角固め（脚を解かない）形
 - ・ 腹包みから頸部を極める行為
 - ・ 肩三角グリップから頸部を極める行為
 - ・ 俵返しから頸部を極める行為
- (5) 選手の呼び出しについて、本大会では 1 分間隔で 3 度呼び出し、試合場に現れない場合は、対戦相手の「不戦勝」とする。
- (6) 「月経による出血が柔道衣に付着していることが目視できた場合の対応方針について（全柔連通知）」に従うこととする。中学生という選手の年齢を踏まえ、付着した柔道衣等の処理に関して保護者の帯同も可とする。【資料 10】